

賃貸名人の通信をファイアウォールに許可させる (ウィルスバスター)

《MSDE/Port : 1433》

以下の手順は、賃貸名人 (MSDE) の通信が『トレンドマイクロ ウィルスバスター』のファイアウォール機能にブロックされ、クライアント (子機) からの接続に障害が発生した場合にご利用いただきます。

通信のブロックは MSDE がインストールされたパソコン (賃貸名人のサーバ) にインストールされたウィルスバスターが行います。従いまして、設定作業はサーバのパソコンで実施します。

また、以下にご紹介する設定手順は汎用を目指しておりますが、一般的な環境を想定した箇所もございます。特殊なネットワーク環境を構築されているユーザー様は、若干の読み替えを要しますがご了承ください。

【目次】

- 『ウィルスバスター2005 インターネットセキュリティ』の設定 2
- 『ウィルスバスター2006 インターネットセキュリティ』の設定 6
- 『ウィルスバスター2007 インターネットセキュリティ』の設定 12

(クリックすると該当のページにジャンプします)

■ 『ウイルスバスター2005 インターネットセキュリティ』 の設定

タスクバーのアイコンを右クリックし、「メイン画面を起動」を選択します。



次の画面が表示されますので、左の一覧より「パーソナルファイアウォール」をクリックしてください。



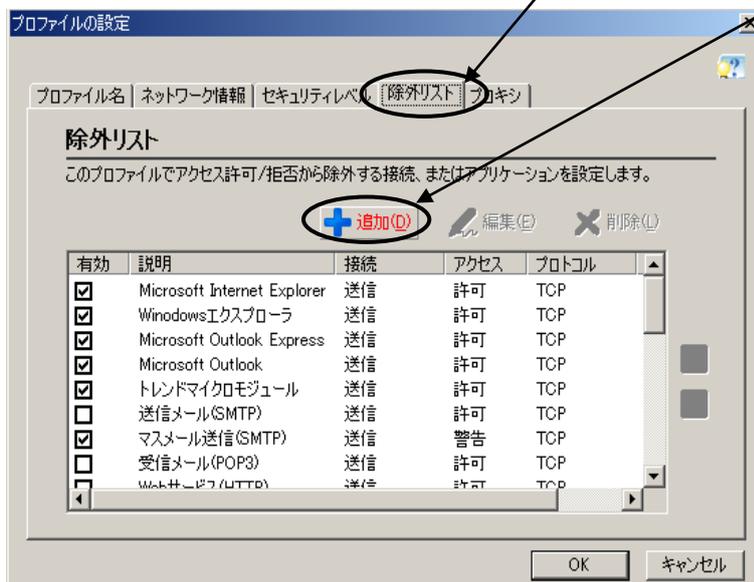
「パーソナルファイアウォール設定」をクリックします。



「現在のプロファイル」で選択されている設定（緑のマークが記されている項目。この例では「家庭内ネットワーク 1」）を下の「プロファイルの編集」欄より選択し、[編集] ボタンを押します。



「プロファイルの設定」ウィンドウが展開します。「除外リスト」タブを開き、[追加] ボタンを押してください。



受信の設定

「除外リストの追加/編集」ウィンドウが展開しますので、「説明」欄に「賃貸名人受信」と入力し、また「受信」にチェックが入っていることを確認してください。「ポート」の「指定のポート」にチェックを入れ「1433」と入力し、次に「IP設定」の「種類」を「サブネットマスク」に設定し、「IPアドレス」・「サブネットマスク」欄に以下のように数値を入力してください(ネットワーク環境によって数値が異なることがあります)。

除外リストの追加/編集

説明(D): 賃貸名人受信

対象(O): すべてのアプリケーション システムプログラム
 指定のアプリケーション:

接続(N): 受信 送信

アクセス処理(A): 許可 拒否 警告

プロトコル(C): TCP UDP TCP/UDP ICMP すべて

ポート(O): すべてのポート 指定のポート: 1433
*複数指定する場合は、カンマ(,)で区切ります (例: 10,15,20-30)

IP設定

種類(Y): サブネットマスク

IPアドレス(X): 192 168 0 0

サブネットマスク(M): 255 255 0 0

OK キャンセル

IP設定

種類(Y): サブネットマスク

IPアドレス(X): 192 168 0 0

サブネットマスク(M): 255 255 0 0

以上の作業が終了しましたら、「OK」ボタンをクリックしてください。直前の画面（「プロファイルの設定」）へ戻ります。続いて送信の設定を行ないますので「追加」ボタンをクリックしてください。

送信の設定

「除外リストの追加/編集」ウィンドウが展開しますので、「説明」欄に「賃貸名人送信」と入力し、また「送信」にチェックが入っていることを確認してください。「ポート」の「指定のポート」にチェックを入れ「1433」と入力し、次に「IP設定」の「種類」を「サブネットマスク」に設定し、「IPアドレス」・「サブネットマスク」欄に以下のように数値を入力してください(ネットワーク環境によって数値が異なることがあります)。

除外リストの追加/編集

説明(D): 賃貸名人送信

対象(O): すべてのアプリケーション システムプログラム
 指定のアプリケーション: [参照(R)]

接続(N): 受信 送信

アクセス処理(A): 許可 拒否 警告

プロトコル(C): TCP UDP TCP/UDP ICMP すべて

ポート(P): すべてのポート 指定のポート: 1433
*複数指定する場合は、カンマ(,)で区切ります (例: 10,15,20-30)

IP設定

種類(K): サブネットマスク

IPアドレス(I): 192 168 0 0

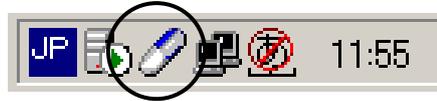
サブネットマスク(M): 255 255 0 0

OK キャンセル

以上で設定が完了します。

■ 『ウイルスバスター2006 インターネットセキュリティ』の設定

タスクバーにあるカプセル剤のアイコンをダブルクリックし、「メイン画面」を起動します。



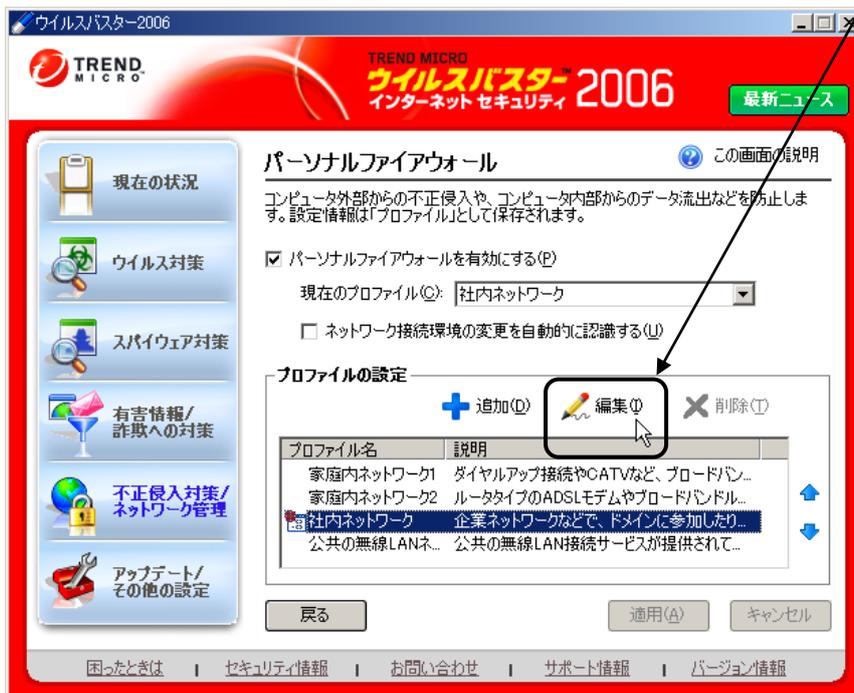
次のウィンドウが開きます。メニューより「不正侵入対策/ネットワーク管理」を立ち上げてください。



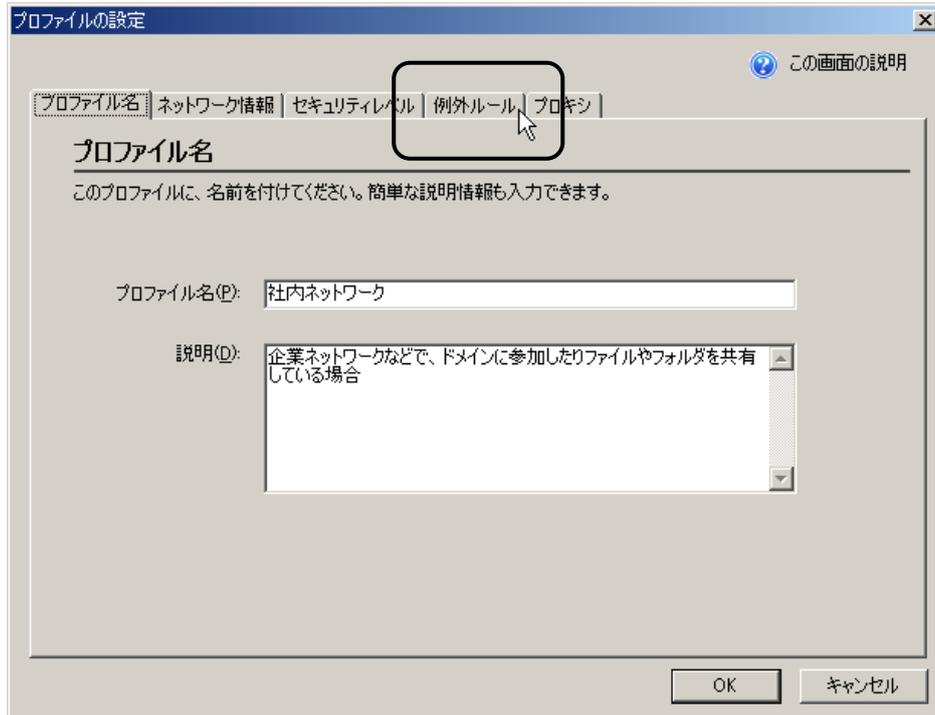
次の画面が表示されますので [パーソナルファイアウォール] ボタンを押してください。



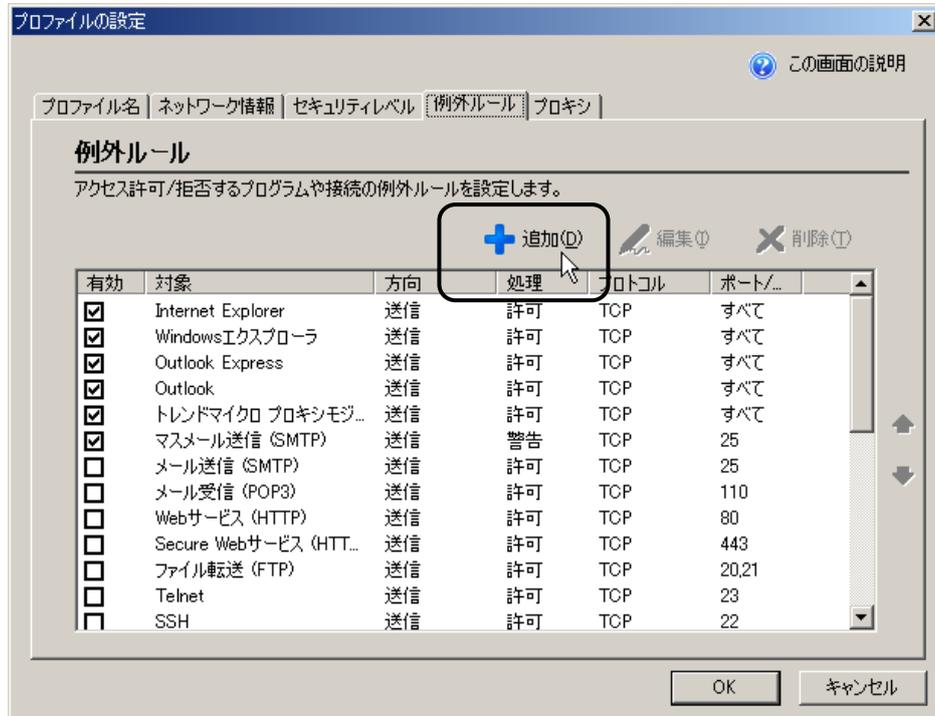
「プロファイルの設定」欄にて「現在のプロファイル」で選択されているプロファイル（左側に  マークがついた項目。この例では「社内ネットワーク」）を選択し、[編集 (I)] ボタンを押します。



「プロファイルの設定」ウィンドウが開きます。「例外ルール」タブを選択してください。



[追加 (D)] ボタンを押しますと、例外ルール編集画面が開きます。



例外ルール編集ウィンドウで「受信の設定」を行います。設定内容は以下のとおりです。

「説明(D)」 : 識別表示として「賃貸名人受信」等と入力します。(任意)
「対象(G)」 : すべてのアプリケーション (標準設定)
「方向(N)」 : 受信
「アクセス処理(A)」 : 許可
「プロトコル(C)」 : TCP (標準設定)
「ポート」 : 指定のポート “ 1433 ”
「種類(Y)」 : サブネットマスク
「IP アドレス(I)」 : 192 168 0 0
「サブネットマスク(M)」 : 255 255 0 0

例外ルール

この画面の説明

説明(D): 賃貸名人受信

対象(G): すべてのアプリケーション
 システムプログラム
 指定のアプリケーション:
参照(B)

方向(N): 受信 送信

アクセス処理(A): 許可 拒否 警告

プロトコル(C): TCP

ポート: すべてのポート
 指定のポート: 1433
*複数指定する場合は、カンマ(,)で区切ります。
(例: 10,15,20-30)

IP設定

種類(Y): サブネットマスク

IPアドレス(I): 192 168 0 0

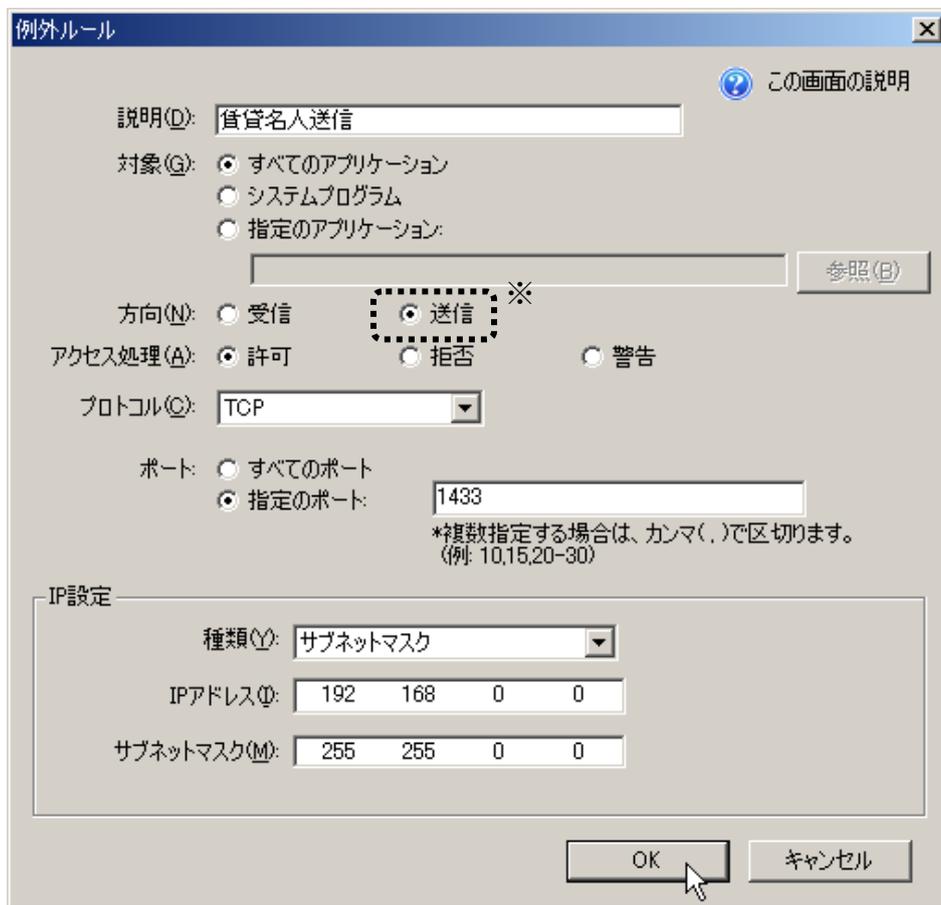
サブネットマスク(M): 255 255 0 0

OK キャンセル

「OK」ボタンをクリックしてください。「プロファイルの設定」画面へ戻ります。続いて送信の設定を行いますので再度「追加」ボタンをクリックしてください。

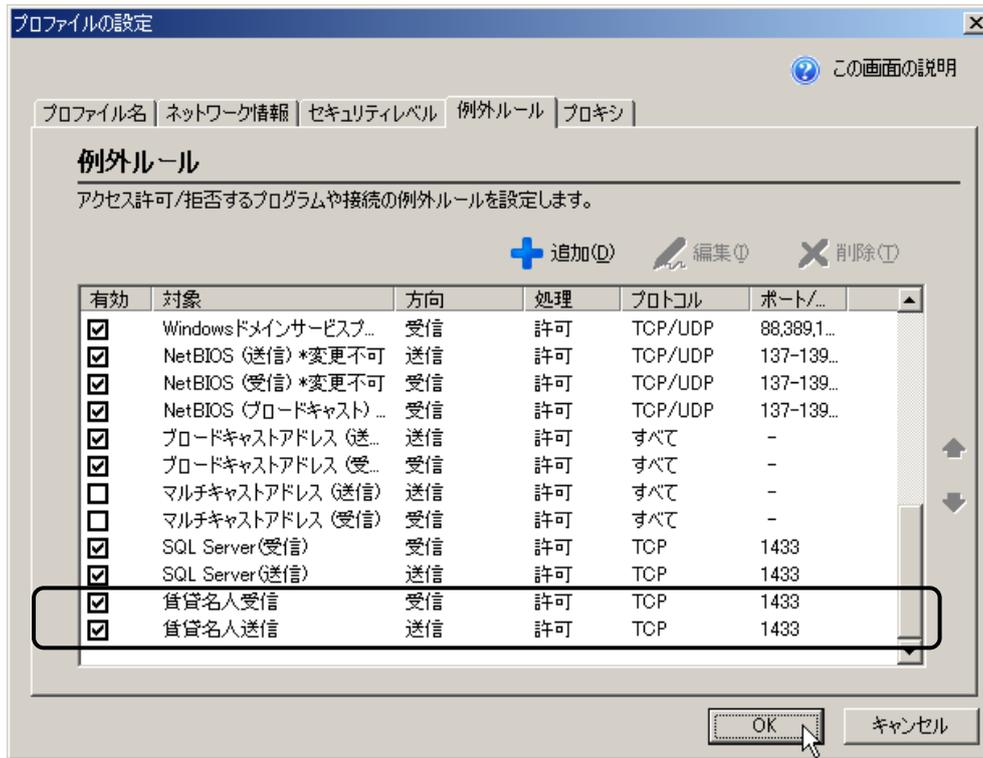
受信の設定と同様の手順で「**送信の設定**」を行います。

- 「説明(D)」 : 識別表示として「貸貸名人受信」等と入力します。(任意)
「対象(G)」 : すべてのアプリケーション (標準設定)
「方向(N)」 : **送信**
「アクセス処理(A)」 : 許可
「プロトコル(C)」 : TCP (標準設定)
「ポート」 : 指定のポート “ 1433 ”
「種類(Y)」 : サブネットマスク
「IP アドレス(I)」 : 192 168 0 0
「サブネットマスク(M)」 : 255 255 0 0



設定が終わりましたら「OK」ボタンをクリックします。

追加した 受信の設定、送信の設定 が表示されていることをご確認ください。



以上で設定は完了です。

■ 『ウイルスバスター2007 インターネットセキュリティ』 の設定

タスクバーにあるカプセル剤のアイコンをダブルクリックし、「メイン画面」を起動します。



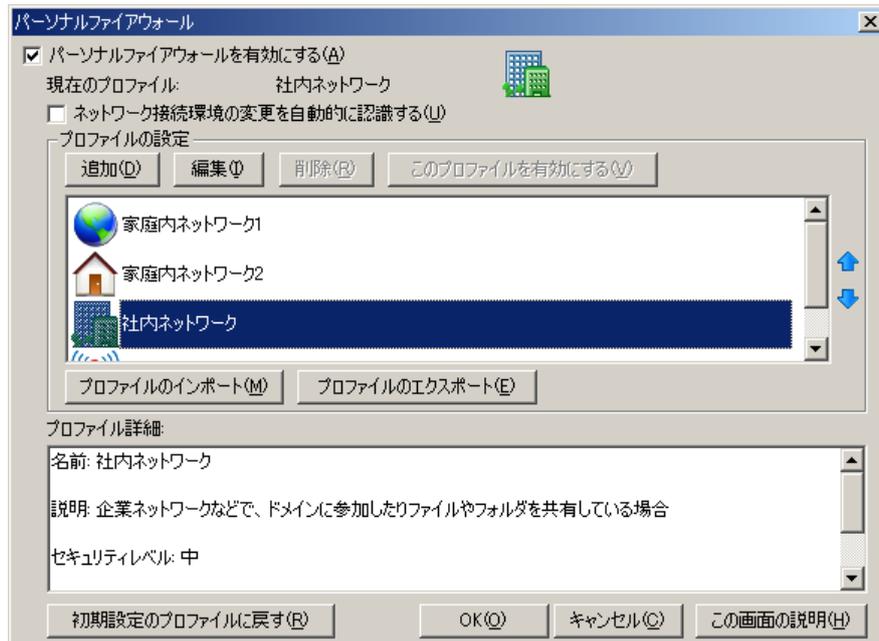
メニューから [不正侵入対策/ネットワーク管理] を開きます。



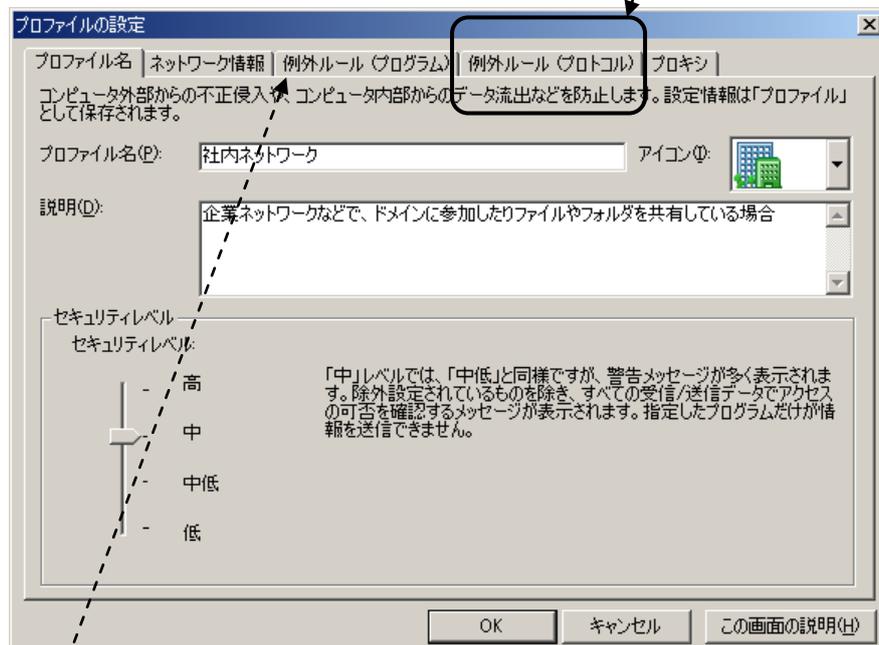
次の画面が表示されますので「パーソナルファイアウォール (F)」の「設定 (S)」ボタンを押してください。



「現在のプロファイル」を選択し、「編集 (I)」ボタンを押します。



「プロファイルの設定」ウィンドウが開きます。「例外ルール (プロトコル)」タブを選択してください。

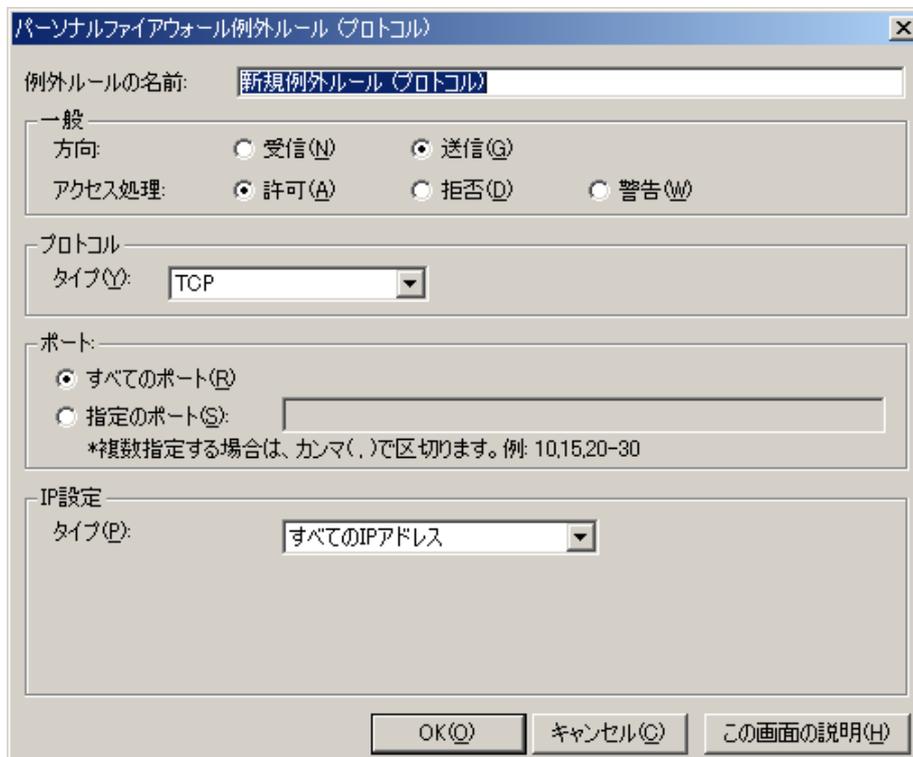


※ 「例外ルール (プログラム)」タブと混同されないようご注意ください。

次の画面が開きます。[追加 (D)] ボタンを押してください。



例外ルール編集画面が開きます。



まず、「**受信の設定**」を行います。設定内容は以下のとおりです。

- 「例外ルールの名前」 : 識別表示として「賃貸名人受信」等と入力します。(任意)
「方向(N)」 : 受信
「アクセス処理(A)」 : 許可
「タイプ(Y)」 : TCP
「指定のポート(S)」 : 1433
「タイプ(P)」 : すべてのIPアドレス (※)

※ 許可する範囲を指定する場合は設定を変更します。

パーソナルファイアウォール例外ルール (プロトコル)

例外ルールの名前: 賃貸名人受信

一般

方向: 受信(N) 送信(S)

アクセス処理: 許可(A) 拒否(D) 警告(W)

プロトコル

タイプ(Y): TCP

ポート:

すべてのポート(R)

指定のポート(S): 1433

*複数指定する場合は、カンマ(,)で区切ります。例: 10,15,20-30

IP設定

タイプ(P): すべてのIPアドレス

OK(O) キャンセル(C) この画面の説明(H)

「OK」ボタンをクリックしてください。「プロファイルの設定」画面へ戻ります。続いて送信の設定を行いますので再度「追加」ボタンをクリックしてください。

受信の設定と同様の手順で「**送信の設定**」を行います。

- 「例外ルールの名前」 : 識別表示として「賃貸名人送信」等と入力します。(任意)
「方向(N)」 : 送信
「アクセス処理(A)」 : 許可
「タイプ(Y)」 : TCP
「指定のポート(S)」 : 1433
「タイプ(P)」 : すべてのIPアドレス (※)

※ 許可する範囲を指定する場合は設定を変更します。

パーソナルファイアウォール例外ルール (プロトコル)

例外ルールの名前: 賃貸名人送信

一般

方向: 受信(N) 送信(S)

アクセス処理: 許可(A) 拒否(D) 警告(W)

プロトコル

タイプ(Y): TCP

ポート:

すべてのポート(R)

指定のポート(S): 1433

*複数指定する場合は、カンマ(,)で区切ります。例: 10,15,20-30

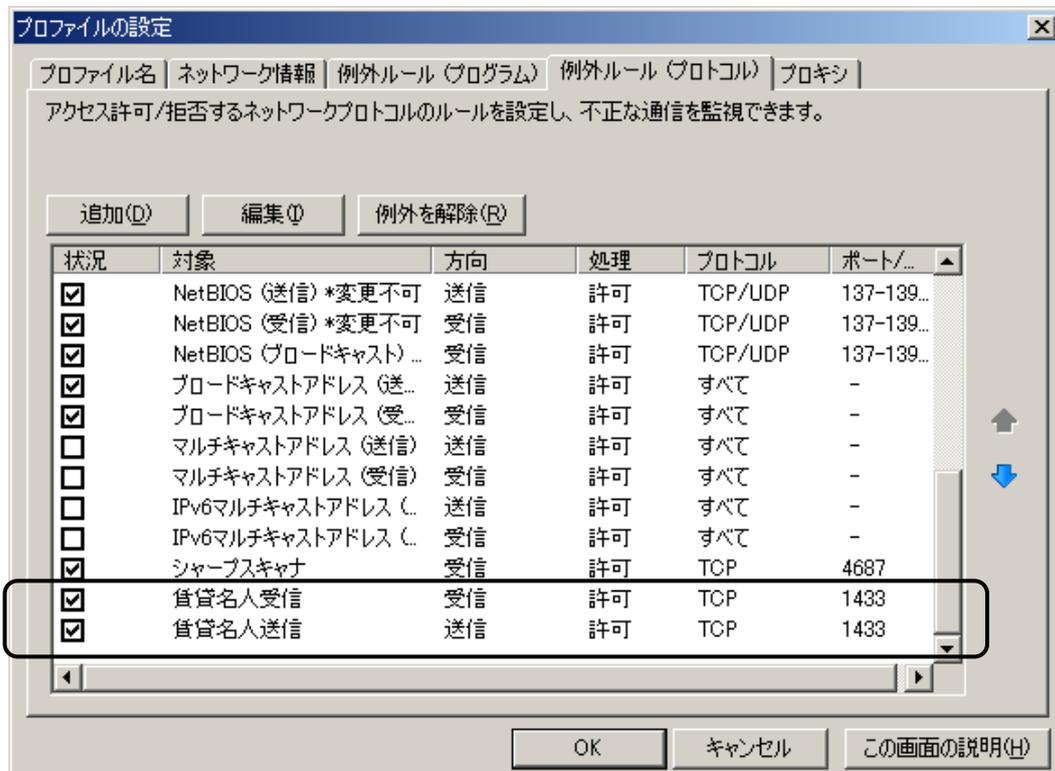
IP設定

タイプ(P): すべてのIPアドレス

OK(O) キャンセル(C) この画面の説明(H)

設定が終わりましたら「OK」ボタンをクリックします。

「プロファイルの設定」画面に戻ります。追加した「受信の設定」、「送信の設定」が表示されていることをご確認ください。



以上で設定は完了です。